

【学校教育目標】「笑顔いっぱいの学校づくり」

～温かい心で認め合い、励まし合い、支え合う子どもの育成を目指して～

鬼塚小学校便り No.10

令和5年7月7日発行

文責 校長 市丸 明彦



モア スマイル



タイミングや適量を考えて

7月に入り、気温もずいぶんと高くなってきました。今週末も大雨の予報ですが、来週には梅雨明けする見込みです。

1年生のアサガオやさくらが栽培している小運動場の夏野菜（トマト、キュウリ、ナス等）も元気にもりもりと育っています。

さて、植物や野菜が元気に育つためには、様々な条件が必要です。土、気温、水、肥料、日光などが考えられますが、水や肥料を与えすぎてはいけません。校長室に飾っていた胡蝶蘭も残念ながら枯れてしまいました。（水の与え方が悪かったようです）

自然の中で育つ植物（雑草）は恵みの雨や日光をしっかりと浴びて力強く生長しています。しかし、栽培している植物や野菜には、夏の暑い日に水を与えないと枯れてしまいます。追肥をしないとたくさん収穫できません。なかなかうまくいかないものです。植物や野菜の声や気持ちが分かればいいのですが…。

まさに、子育てや教育も似たようなものではないでしょうか。私達大人の援助なしでは子ども達はすくすくと育ちません。子ども達の状況をしっかりと見極め、適量の愛情や課題等をタイミングよく与えることが効果的だと思います。でも、良かれと思い、与えすぎている時がありませんか。また、頑張らせ過ぎて、与えるタイミングや場面、量を間違えている時がありませんか。子育てや教育は難しいものです。日々の生活で忙しい中でも、私達大人が子ども達と適切に関わっていききたいものです。

願いごとがたくさん

鬼塚校区青少年育成協議会の皆さんから、小学校に七夕用の竹と短冊セットをいただきました。

各クラスで「〇〇が欲しい」「勉強ができますように」などの願いごとを書いたり、飾りを作ったりして廊下に飾っています。

今夜の天候が心配されますが、子ども達の願いごとが叶うことを願っています。

青少協の皆さん、ありがとうございました。

